

令和6年第4回

山都町議会定例会

提案理由説明書

令和6年12月5日

令和6年第4回定例会を招集しましたところ、御参集を賜り、誠にありがとうございます。

実りの秋を迎え過ごしやすい季節を期待していたものの、10月後半まで残暑が続きました。11月には観測史上初の台風が同時に4つ発生するという異常気象でしたが、幸いにも台風の襲来はなく安堵しています。

このような中、先般8月末の台風10号の被害状況を鑑み、今議会の補正予算に、農林業施設や公共土木施設に係る災害復旧費用を計上しておりますが、相当な額になっており、今後も、季節に関係なく、降雨の予報には十分な警戒を持って対応すべきと改めて実感しています。

11月下旬に紅葉の便りをようやく耳にしたものの、朝晩の寒さが急に厳しさを増し、九州脊梁山地にも雪模様が見られ、早くも冬の訪れを感じるようになりました。昼夜の気温差も大きく、季節の変わり目でもありますので、皆様におかれましては、充分ご自愛ください。

さて、先般の定例会以降、本町に関連する出来事について紹介いたします。今回は、10月下旬に子育てや教育に関する説明会等に接する機会が多くありましたので、そのことについて触れさせていただきたいと思っております。

まず、先に方針を示しています保育園に関する保護者等説明会を、中島地区及び二瀬本地区において開催し、直接、多くの方から貴重な意見をお伺いしました。本町における子どもたちの保育環境の保持を念頭に、優先すべき事項を十分に検討し、今後の調整にあたって参ります。

次に、教育委員会において協議が進められている義務教育学校です。従前の方針である矢部地区、清和地区及び蘇陽地区のそれぞれに1校ずつの計3校を整備する方針から、児童生徒数の推移を見通しつつ、通学時間等の問題を踏まえ、矢部地区に1校、清和地区及び蘇陽地区に1校の計2校を整備する方針に変更した旨の説明がなされました。12月の広報やまとに関連記事が掲載されますのでご覧ください。既に、各地区において、説明会を開催し、貴重な意見をいただいたと聞いております。また、要望に応じて、保育園や小中学校での説明会も行っているとのことですので、関心を持っていただければと思います。

最後に、高等学校在り方検討会による、「みんなで考えよう！ 県立高校のみらい 地域意見交換会」が開催されました。意見交換会は県内25か所程度で開催される予定で、これまで開催された複数の場所と比べ、100名を超える本町の参加者の多さに関係者が非常に驚かれていたようです。意見交換会の中で

は、あり方検討会における議論の状況等について説明があった後、ワールドカフェ方式のワークショップにより、メンバーを交替しながら、「10年後、この地域にあって欲しい高校の姿」について熱く語り合われました。会の最後には、アンケートの回収もありました。

今後は、ワークショップで出された意見やアンケートの結果が県立高校あり方検討会に報告され、県内から出された多くの意見を踏まえた提言としてまとめられ、次期方針を決定されるようです。町民の皆様におかれましても、本町に唯一の県立高校、矢部高等学校の将来に関心を持って見守っていただきますよう切にお願いいたします。

「山の都づくりの取組み」を進めていく中で、「子育て家庭が安心して生活できるまち」、「将来に夢と希望を持つ子どもが育つまち」を推し進めることが重要だと考えています。人材確保の厳しさがあらゆる分野に影響を及ぼしつつあるなか、次世代への繋がりを意識しながら、よりよい教育環境を築けるよう取り組んでまいります。

次に、今定例会に提案しております議案につきまして、概要

をご説明いたします。

今回の定例会に提出する議案は、専決処分1件、条例4件、補正予算3件、その他3件の合計11件です。

専決処分は、衆議院の解散に伴う選挙執行経費を速やかに措置する必要があったため一般会計の補正を行いましたので、その報告をし、承認を求めるものです。

条例4件は、それぞれ必要な条例の一部を改正するものです。

補正予算3件は、令和6年度の一般会計及び事業会計に関するものです。

その他3件のうち、1件は町が加入する一部事務組合の規約の一部変更に関するもの、1件は財産の取得に関するもの、1件は財産の処分に関するものです。

以上、提案理由について説明いたしました。

詳細については、担当課長から説明させますので、適切な決定をいただきますようお願いいたします。